

10月18・19日  
秋祭り

# 鎮守の森沸く！



町膳内

## 自治会通信

《第23号》

会報編集委員会  
平成26年11月発行

### 秋真っただ中

### 食べて、遊んで

まるで数日前に日本列島を通過した台風19号が周辺の雲を残らず連れ去ったかと思えるような青空の下、地域の集い秋祭り（地縁団体内膳町自治会主催）が内膳春日神社を会場に行われ、境内は終日子供たちの元気な声であふれました。



だんじりをバックにみんなで写真（19日）

ご挨拶  
秋祭りは晴天のもと皆様のご協力を得て、無事盛会裏に終わることが出来ました。お礼申し上げます。大人も子供も集い、語り楽しみあう二日間でした。心に残る新しい一ページになることでしょう。今後もみなさまのお力添えをお願い申し上げます。  
地縁団体 内膳町自治会 会長 上田 剛

▼最近では子供たちが外で遊ぶ姿を見ることが少なくなりましたが、祭りの二日間だけは別です。いったい町内のどこにこれだけの子供が住んでいるの？と思える程大勢の子供が内膳春日神社の境内に集まりました。開会式に続き森澤宮司から安全祈願のお祓いを受けた後、18日正午より祭が始まりました。

▼100人近いスタッフによって昼前には会場設営が完了。準備万端です。開演と同時に参加券を手にした子供たちが次々と来場。足早に思い思いの模擬店に向かい、食べて、遊んで、楽しい時間を過ごしました。二日目午前10時半からは、日本チャンピオンにもなった経歴を持つ、リスボン上田氏によるジャグリングショーが30分行われ、プロの繰り出す妙技が観客を魅了しました。また昨年の二日目は雨中で中止になった祭の一方のメイン「子供だんじり」、今年は天候の心配もなく両日巡行。町のすみずみに元気な声を撒くことができました。

#### 子供だんじりが行く

だんじりを安全に巡行するために交通部会が結成されるのは今年で5回目。構成人数は30人です。先導役、操作役がだんじりに寄り添ったほか、主要な四つ角には待機班が待ち受け交通を整理、一致協力して70メートルの行列を見守りました。ほんの数年前には、だんじりの上からお母さんを探して泣きじゃくっていた子が、今年は先頭に立

初登場「射的ブース」賑わう  
会場南側には参加券で遊べるゲームが4ブース並べられました。出店されたのは、毎回好評のスーパーボールすくい、ジャンボサイコロ、ストラックアウトに加え「上級生向きのゲーム」という提案で、かつての縁日では主役級遊技だった「射的」が秋祭りに初登場しました。昔なつかし「射的ゲーム」の出店には子供たちは無論の構えて「もつと的の上の方を狙って」と子供さんにアドバイスをする保護者や、手本を示すために自らコルク銃を構えて撃ちだす保護者も現れ、射的ブースは大人も子供も入り混じって大賑わい。秋祭りの人気ゲームになりました。



的をしっかり狙ってとアドバイス

ってだんじりを曳いてくれました。そんな子供らの成長した様子を頼もしく見つめながらスタッフ一同2日間いい汗をかきました。



サァー、だんじりの出発です

### ビンゴゲーム・福引抽選会はまさか！の連続

初日の最終イベントはビンゴ大会。ゲーム開始を前に神官用の白衣と袴姿に身を固めた進行役・内膳春日神社森澤宮司がユモアを交えた口ぶりです。「一番にビンゴが完成できた人は最初に景品くじを引く権利が得られるだけで、特等が当たったことではありませんよ。抽選箱から引いたくじで何等賞になるかが決まります。去年は偶然にも一番ビンゴの方が特等を引き当てられたのにはびっくりしましたね、さて今年は何とやら。来年の結果次第ではジンクスができるかもしれません。」

そして2日目。祭のフィナーレを飾って行われた福引抽選会でも大きな偶然が起きました。抽選券の発行枚数は170枚。それに対してプレゼントされる景品総数は71点。昨年に比べ当たる確率が高い抽選会です。9等から1等までの当選者が順次決まり、残すは特等のみ。かたずをのんで見守る観衆の前で、上田会長が抽選箱から慎重な表情で引いたカードに昨年の特等当選者Iさんの名前が書かれていたのはビックリ！。景品のダイソンのハンディクリーナーを手にしたIさん。2年連続の幸運に満面の笑みを浮かべておられました。





愉快で リスボン上田氏のジャグリングに大喝采



「百聞は一見にしかず」とはまさにこのこと。ジャグリング？聞きなれない言葉に何が始まるのかと、拝殿前の演技場を取り囲んだ観客から嵐のような拍手がわき起こったのはショーが始まって間もない時点でした。ロープを使って中国ゴマを自在に操るオープニングの一芸で強烈なインパクトを与えたリスボン上田氏。その後は一瞬の動きも見逃すまいと食い入るように見つめる観客を前に、愉快な話しを交えながら、ボール、水晶玉、棒などいろいろな小道具を取り出し、次々に妙技を繰り出すと、30分の演技中場内から大きな拍手が送り続けられました。公演終了後には、ご愛嬌で企画委員の三氏（浦野さん、黒松さん、村上さん）が共同で制作した、障害物に触れると（ピー）とけたたましい音がる（たいていの子供たちが失敗していた）、「いらいら棒」を「やっていいですか」とチャレンジ。簡単にクリアする手本を見せてくれました。プロ12年目の34歳。若々しい演技で境内に楽しい余韻を残してくれたリスボン上田氏。もつと多くの皆さんに見て頂きたいと思ったイベントでした。

秋まつり写真展開催

自治会では11月8日、9日の2日間すみれホール5階で「秋まつり写真展」を開催。170枚の写真を掲示し秋まつりを振り返って頂きました。とりわけ注目度の高かったのは、だんじりをバックに撮った集合写真（別面に掲載）と子供たちを一人ずつ（80枚）紹介したコーナー。ほとんどの方が立ち止まり、自然のポーズで撮られた子供さんの姿を見つめておられました。写真展は今年で4年目。写真を通して年々子供たちの成長していく様子が伺えます。来年はどんなに大き

うに見つめる観客を前に、愉快な話しを交えながら、ボール、水晶玉、棒などいろいろな小道具を取り出し、次々に妙技を繰り出すと、30分の演技中場内から大きな拍手が送り続けられました。公演終了後には、ご愛嬌で企画委員の三氏（浦野さん、黒松さん、村上さん）が共同で制作した、障害物に触れると（ピー）とけたたましい音がる（たいていの子供たちが失敗していた）、「いらいら棒」を「やっていいですか」とチャレンジ。簡単にクリアする手本を見せてくれました。プロ12年目の34歳。若々しい演技で境内に楽しい余韻を残してくれたリスボン上田氏。もつと多くの皆さんに見て頂きたいと思ったイベントでした。

役員会で秋まつりを総括

11月8日に行われた役員会で「秋まつりの収支報告及び反省会」を行いました。

中間会計監査実施

10月27日（月）平成26年度上期（平成26年4月1日～同9月30日）に関わる中間監査が行われ、監査人（打谷久義、森澤一の両氏）から会計処理が適切に行われていると承認を得ました。

駐車場に新設の監視カメラ・事故車両特定に効力発揮

10月11日に行われた役員会において福井財産管理部会長から「駐車場に新しく設置した監視カメラが、場内で接触事故を起こした車の特定に著しい効力を発揮しています。」と報告がありました。監視カメラの設置は前号で既報の通り、6月に開かれた檀原市と自治会による駐車場運営協議会の席上、市事務局から「場内備えつけの監視カメラでは、事故車両を確定できない場合があった。」との報告を受けて、事故処理を適切に行うことができるように、車両ナンバーが従来より鮮明に読み取れるデジタル監視カメラを出口付近に取り付ける案件を役員会で承認。9月16日



車の車種、ナンバーが確認出来るようになりました

に工事は完了しています。財産管理部では機種選定の過程において、日昼よりも判別が難しいと考えられる夜間時に映像確認を行い、その上で機種を決定しました。9月16日～10月10日までの間に4件の事故が発生しましたが、いずれも加害者を特定できています。

11月15日防災フェスティバル開催



災害から自分を守るために！

第4回防災フェスティバル（内膳町防災会主催）が11月15日（土）午前10時から檀原消防署、第八分団の協力を得て行われました。当日の参加者は60人。会の冒頭、田中内膳町防災会会長は「同じ訓練を繰り返し行うことが、いざという時に自分を守ることに繋がります。」と訓練の大切さを挨拶の中で強調しました。開式の終了後、消火器の取り扱い、煙体験、チェーンスロー、簡易マスク作り、バケツリレーを体験。後半は初試みの防災クイズが行われ、成績の良い人には景品が贈られました。最後に第八分団・浅井団長から講評を受け約一時間は終了しました。



全員が協力してバケツリレー

飛鳥川の草刈り・清掃に30人参加

11月9日「飛鳥川清掃」が行われ、自治委員ら30人が夏の間に伸びた雑草の刈り取りや堤に放置されたごみを拾いました。作業決行か？中止・延期するか？を決断する当日午前7時は今にも泣き出しそうな空模様でしたが、予定（午前8時）より早めに集まった参加者は「本降りになる前に終らせよう」と作業を開始。それぞれ持ち場に分かれ草を刈りながら川岸まで慎重に下り、約一時間かけて堤に捨てられていた一般ごみ、空き缶、ビンなどを袋13枚回収しました。

途中で小雨がぱらつきましたが、斜面が雨で濡れて足場が滑りやすくなるまでには至らず9時前に終わることができました。今年の清掃は今回で終わります。次回（来年3月、桜の季節を迎える頃）に行われる予定です。



雨の降る前に作業を終えることができました

山の秋を満喫

善寿会・ボスコヴィラランドゴルフ大会 善寿会のグラウンドゴルフ愛好会・秋のレクリエーションが11月4日（火）ボスコヴィラで16人が参加して行われました。放射冷却の影響で朝方は冷え込みましたが、日中は暖かい日が差し、気温20度近くまで上がる絶好の日になりました。今回で3回目の遠征とあって、参加メンバーはすっかりコースを熟知。「成績は全体的にアップしました」と秦会長。公式戦は午前中に終了。プレーを振り返りながら昼食に舌づつみを打ちました。今年は紅葉が遅く山はまだ秋色に染まっていませんでしたが、参加者は好天気のもとで山の秋を満喫。楽しい一日を過ごしました。